

ISO14001 認証取得



Certificate No. AJA06/10094

## 東埼玉資源環境組合

構成団体

越谷市 草加市 八潮市  
三郷市 吉川市 松伏町

### 今号の主な内容

- ・22年度ごみ処理状況……………2
- ・6月組合議会開催……………2
- ・エコスクール 越谷市立城ノ上小…3
- ・22年度情報公開状況……………3
- ・地域計画が承認される……………4
- ・こしがや田んぼアート2011…4
- ・親子スクール参加者募集……………4

●第一工場 〒343-0011 越谷市増林三丁目2番地1 計画課：☎048-966-0121 資源エネルギー課：☎048-966-0123  
FAX. 048-965-6569 総務課：☎048-966-0122

●第二工場 〒340-0001 草加市柿木町107番地1 資源リサイクル課 } ☎048-936-1251 (代表)  
建設準備室 }  
FAX. 048-931-5206

●ホームページアドレス <http://www.reuse.or.jp/> ●発行 東埼玉資源環境組合 ●編集 計画課

# ISO環境方針を改定

## 「環境方針」の見直し



当組合では、平成12年3月に国際標準化機構が定める環境マネジメントシステムである「ISO14001」の認証を取得しました。その後、平成15年・18年・21年と3年ごとに再認証を取得し、継続的な改善に努めてきました。平成11年12月に制定した環境方針について、持続可能な循環型社会の形成に向けたものに見直し、6月に改定したところです。

ISO14001登録証  
(平成21年3月の再認証時)



## 東埼玉資源環境組合環境方針

### 1. 基本理念

東埼玉資源環境組合は、ごみとし尿の適正処理に努めるとともに、地球規模で課題となっている温暖化防止対策のための温室効果ガス削減に向けて、管内住民、事業者、構成市町と一体となり、ごみの減量化や資源化などの対策を推し進めてまいります。

そのため、持続可能な循環型社会の実現を目指して、環境マネジメントシステムにより環境負荷の低減に取り組むことを決意し、ここに環境方針を定めます。

### 2. 基本方針

- (1) 東埼玉資源環境組合の事務事業が環境に負荷を与えていることを認識し、環境目的および環境目標を定め、継続的な改善と汚染の予防に努めます。
- (2) ごみの減量とリサイクル、省資源・省エネルギー対策などを推進し、循環型社会の実現に向け取り組みます。
- (3) ごみ焼却の際に発生する熱エネルギーの有効利用に努めます。
- (4) 環境に関する法令およびその他環境に関する通達、協定などを順守します。
- (5) 環境意識の高揚を図る施策を、地域社会と連携して推進します。
- (6) 全職員が環境方針を自覚し、環境に配慮した活動を実践できるように教育訓練・研修を実施します。
- (7) この環境方針は、全職員および委託業者に周知するとともに、環境マネジメントシステムに基づく活動を内外に公表します。

平成23年6月1日

東埼玉資源環境組合管理者 高橋 努

## 環境負荷軽減の取組み



組合では、環境方針を受けて、環境マネジメントシステムを構成するPDCAサイクルを繰り返しながら継続的な改善を図っています。平成23~25年度まで3年間の環境目的、目標を定め、推進計画書に基づき、各種事務事業を進めています。

定期審査オープニングミーティング風景▶



## 5つの環境目的



- ① ごみの減量化と再資源化
- ② 開かれた組合運営
- ③ エネルギーの有効活用
- ④ 省エネ・省資源及びリサイクルの推進
- ⑤ 環境に配慮した事務事業の推進



第一工場入口脇の認証表示看板

## 展望台公開の再開



『東日本大震災』の影響により、利用者の安全や省エネルギーのために一時休止していましたが、6月6日(月)から公開時間を短縮して再開しました。節電対策により平日の利用時間は、午前10時から午後4時(受付は午後3時)までとなります。

また、日曜展望台公開は、毎月第3日曜日の午前10時から午後4時まで行います。

なお、7月から9月の期間は、4面の展望台特別公開日をご参照ください。

〈問合せ先：計画課 ☎048-966-0121〉



# 平成22年度の ごみ搬入量と処理状況

## 平成22年度の搬入状況

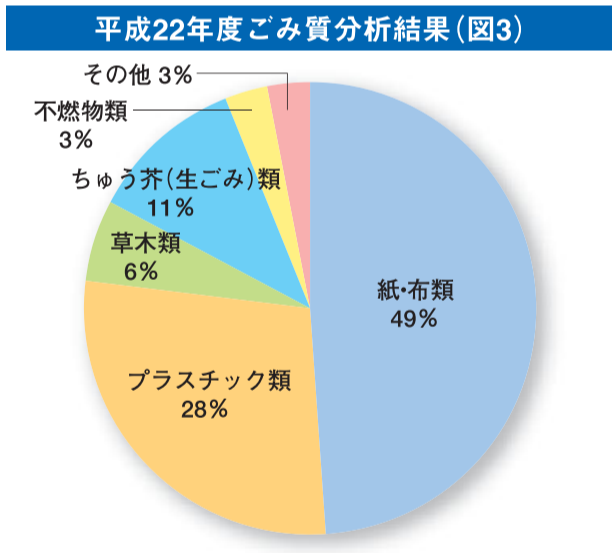
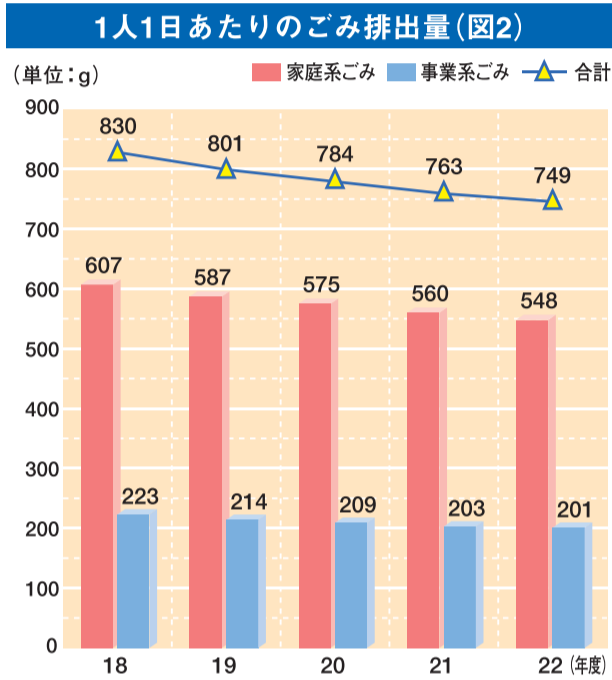
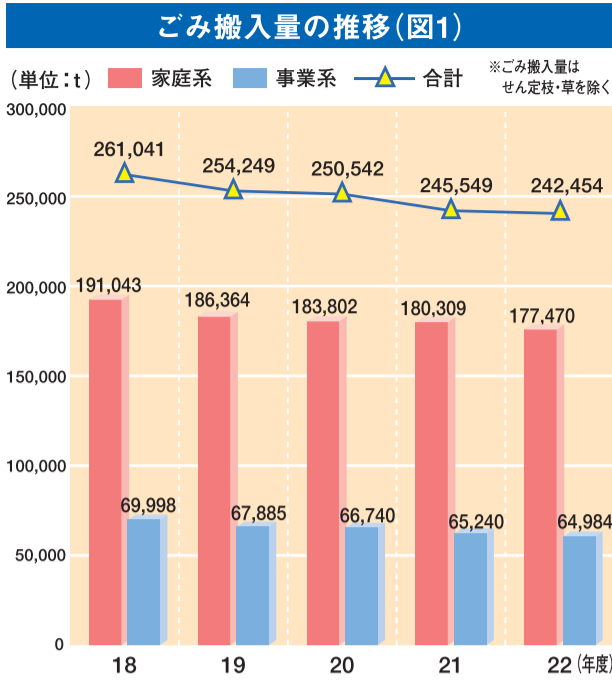
平成22年度に管内5市1町から組合に搬入された可燃ごみ量は、せん定枝、刈り草を除くは、家庭系が177,470トン、事業系が64,984トンで合わせて242,454トンありました。

平成21年度(245,549トン)と比較すると、3,095トンの減量となり、対前年度比1.3%減少しました。

平成18年度(261,041トン)と比べ、搬入量で約18,587トン、率では7.1%減ってきています。

## 住民一人一日あたりのごみ排出量

家庭系ごみだけで見ますと、住民一人一日あたりの搬出量は548グラムで、平成18年度の607グラムに比べて59グラム



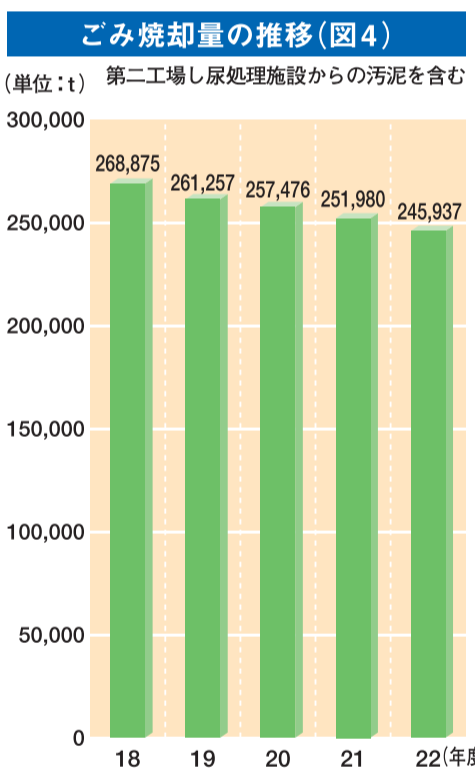
内容物調査では、ごみの種類や量などの割合を把握するほか、燃えないごみや資源物の混入を調べて構成市町や事業所などに報告し、ごみ減量化対策の資料として活用しています。

## ごみの分析調査

組合では、搬入されたごみの中に含まれるものの調査をしています。

平成22年度のごみ焼却量は、245,937トンで、平成18年度に比べて22,938トン少なくなりました。第一工場の焼却施設は、運転開始から16年が経過し、ここ数年は非常に高い稼働状況が続いています。定期的

## ごみ焼却量の推移



に焼却炉の点検を実施して、設備の更新や部品の取り替えを行っています。経年劣化は否めないのが現状です。安全で安定的な焼却処理を進めるために、管内住民並びに事業所等の方々にご協力をいただきながら、今後ともごみ減量化の取り組みを進めていきます。

## 埋立量

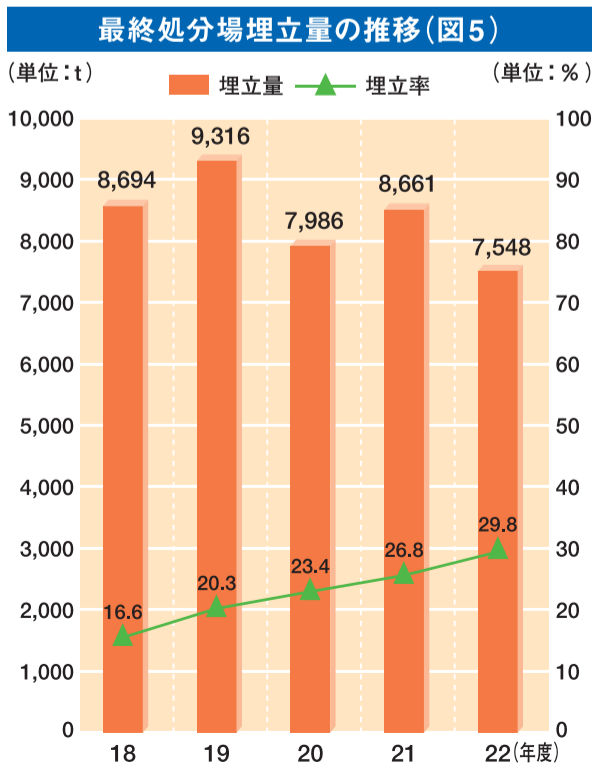
平成22年度の埋め立て量は、7,548トンで平成18年度の8,694トンと比べ、1,146トン減少しています。平成14年から9年間の累積埋め立て量は、75,898トンとなりました。

## おわりに

ごみの減量化・資源化についての問題は、住民・事業者・行政が一体となって取り組んでいかなければ解決しません。それぞれが問題意識や情報を共有し、互いにパートナーとして協力しあうことが必要となります。

## 最終処分場埋立量の推移

また、埋め立て率は、スラッグの見かけ比重を1.5として算出した場合、埋め立て容量170,000m<sup>3</sup>のうち29.8%となります。



## 6月組合議会が開かれました

平成23年6月東埼玉資源環境組合議会定例会が、6月28日に開催されました。

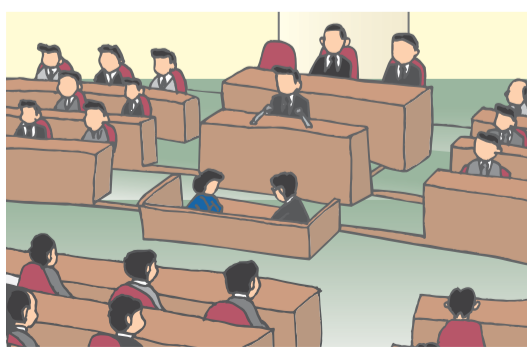
今議会では、管理者から議案の提出はありませんでした。また、委員会提出1議案が上程され、審議の結果可決されました。

なお、上程された議案及び一般質問の内容は次のとおりです。

◆【委員会提出議案】  
第1号議案  
東埼玉資源環境組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について  
..... 原案可決

【一般質問の内容】  
1. 一般廃棄物処理基本計画の策定について  
2. ごみの減量化に関すること  
3. 第2清掃工場の進捗について

4. 東日本大震災における被災地のごみ受け入れについて  
5. 循環型社会形成推進地域計画について  
①新しい計画の公開について  
②構成市町との協議について  
6. 被災地の瓦礫の受け入れについて  
①放射性物質等の影響など  
②安全性の確保について



# 平成22年度 情報公開制度実施状況

東埼玉資源環境組合では、組合が保有する行政情報についての知る権利を尊重し、組合構成市町の住民の皆様が必要とする情報を積極的に提供することにより、組合に対する理解と信頼を深め、住民参加の推進並びに公正な組合運営の確保に寄与することを目的として情報公開条例を定めています。

このたび、平成22年度の情報公開制度の実施状況についてまとめましたので、お知らせします。昨年度に受け付けした公開請求件数は8件でした。詳細につきましては下記のとおりです。

なお、組合の運営状況については、随時、ホームページ等に掲載しておりますのでご覧ください。

### 実施機関別請求件数および処理状況(件)

| 実施機関  | 請求件数 | 処理状況 |      |     |     |
|-------|------|------|------|-----|-----|
|       |      | 公開   | 部分公開 | 非公開 | 取下げ |
| 管理者   | 7    | 2    | 0    | 4   | 1   |
| 公平委員会 | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   |
| 監査委員  | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   |
| 議会    | 1    | 1    | 0    | 0   | 0   |
| 合計    | 8    | 3    | 0    | 4   | 1   |

※1件の請求で複数の文書が対象となる場合があるため、1件に対し複数の決定が行われることがあります

### 請求内容

- ・第一工場基幹改修に関する全ての資料及び精密機能検査直近2回分の全ての資料
- ・第二工場の建設に関する循環型社会形成推進地域計画の変更及び第2期申請に関わるもの一式(同一内容で2件)
- ・第二工場の建設に関する入札に用いられる発注仕様書等一式
- ・一般廃棄物処理基本計画
- ・平成22年11月19日開催の第二工場ごみ処理施設建設特別委員会の議事録
- ・組合と各構成自治体との事務連絡会議の議事録
- ・バグフィルターを経年劣化の主因であるケーシングの減肉に関する検査データ

問合せ：総務課 情報公開担当 ☎048-966-0122

## 第一工場防災訓練を実施

6月15日(水)午前10時から第一工場において、消防防災訓練を実施しました。今年の訓練は、東日本大震災を考慮して震度6弱の地震発生を想定し、組合職員並びに委託会社社員118人が参加して行われました。

越谷市消防署大相模分署の指導による通報訓練・避難訓練・消火訓練・応急救護訓練などがありました。自衛消防組織の初期消火班による放水訓練では、消火栓から実際に放水し、訓練参加者は水圧に耐えながら消防ホースを握っていました。

なお、第一工場の火災や薬品漏えい、設備故障など緊急事態の対応については、別途、年間計画に基づき委託会社と合同で訓練を実施しています。今後も、災害に対応できるよう継続的に訓練を実施します。



放水訓練



消火訓練



煙中避難訓練



応急救護訓練

## エコスタイル ビオトープから 始まる環境教育

越谷市立城ノ上小学校

越谷市立城ノ上小学校(若田範之校長、児童数743人)は、越谷市内初のオープン型教室を備えた開校5年目の学校です。学校周辺には田畑が多く残っており、キジなどがよく姿を現す緑豊かな環境の中にあります。また、雨水利用タンクや太陽光発電パネルを始め、学校ビオトープ、理科庭園、学年園等が数多く設置され、子ども達が自然に触れ合う環境が整っています。



学年園

このような恵まれた自然環境・教育環境の中で開校当初から学校ビオトープを中心に環境教育に取り組んできました。

### 1. 学年園、花壇の活用

3年生の総合的な学習の時間では「食を考えよう」をテーマに、野菜を育て食べる活動を通して

して考える学習を行っています。近隣のネギ農家への見学や体験も実施し、自分たちと農家の方の野菜の違いなども学習し

### 2. 理科庭園の活用

理科室に隣接している理科庭園は、「屋上緑化」の施設の一



全校朝会

つです。校舎内に居ながらにして、植物の観察ができることもに、理科の学習の際に、目の前で観察ができるという施設を生かした活動を実施しています。光合成の様子を調べるために、葉にアルミホイルを巻いた実験などを行っています。教室に近い低学年の子ども達も興味を持って観察をしています。



理科庭園

毎日、ビオトープで見られる動物、昆虫等を放送したり、ビオトープ新聞や全校集会で紹介したりするなど、全校的に注目している場所です。冬場などは「バードウォッチング大会」を開催し、低学年から高学年まで多くの子ども達が参加しています。

### 3. ビオトープ委員会の活動

ビオトープに呼び寄せたい目標種をモズに定め、活動を続けています。開校当時は、園芸種中心だったビオトープも、クヌギ、ススキなど本来種を移植するなども子ども達と整えてきました。



学年園

れ、子ども達の励みとなつていきます。

### 4. 全校で取り組む環境教育

「ゴミゼロクリーン作戦」として、全校児童が学校の周り、通学路のゴミ拾い、清掃を行っています。地域をきれいにすると同時に痛み付けられた植物等を目にする、環境を守るには、自分たちみんなの行動を改



ごみ拾い

めることこそが最も大切であるということを学んでいます。

### 5. まとめ

今後も、ビオトープ、理科庭園などを効果的に活用し、それらを生かした環境教育を行うことで、自然の素晴らしさや生きものの尊さに気付いていくことができると思え環境教育のさらなる充実を目指していきたいと考えています。

地域計画が承認されました

平成23年1月17日付で提出した「東埼玉資源環境組合地域・循環型社会形成推進地域計画」が環境大臣より平成23年6月23日付で承認され、組合には7月4日に通知がありました。

循環型社会形成推進地域計画とは

市町村や一部事務組合が、循環型社会形成の推進に必要な廃棄物処理施設の整備事業を実施するために定めるものをいいます。今後、この計画に基づいて、組合と構成5市1町では、ごみやし尿の処理等の廃棄物行政を行ってまいります。なお、組合ではこの計画に基づき、第二工場ごみ処理施設の建設事業を進めてまいります。

◆問合せ先 建設準備室 ☎048-936-1251

こしがや田んぼアート2011

5月22日(日)に54組147人が参加して、組合西側の増森地内の田んぼで田植えが行われました。これは、越谷市観光協会が、JA越谷市や越谷市グリーンクラブ、越谷市測量設計業協同組合などと実行委員会を結成し、昨年度に引き続き実施される2回目の事業です。田んぼに数種類の古代米を植えてアートを描くもので、今年の絵柄は、こしがや鴨ねぎ鍋のキャラクター「ガーヤちゃん」に加えて、「ゲゲゲの鬼太郎」や「がんばろう日本」のメッセージも描かれます。下の写真は、7月1日に撮影したもので、ゲゲゲの鬼太郎やガーヤちゃんがくつきりと姿を現し始めています。



田植え風景



7月1日撮影

◆展望台特別公開日

- 月日 7/17・7/24・7/31・8/7・8/14・8/21・8/28・9/4・9/11・9/18 ※朱書きは日曜展望台公開日です
- 時間 午前10時から午後4時まで(受付は午後3時まで)

こしがや田んぼアート2011に関するお問合せ 越谷市観光協会(事務局) ☎048-966-6111 FAX 048-965-4445

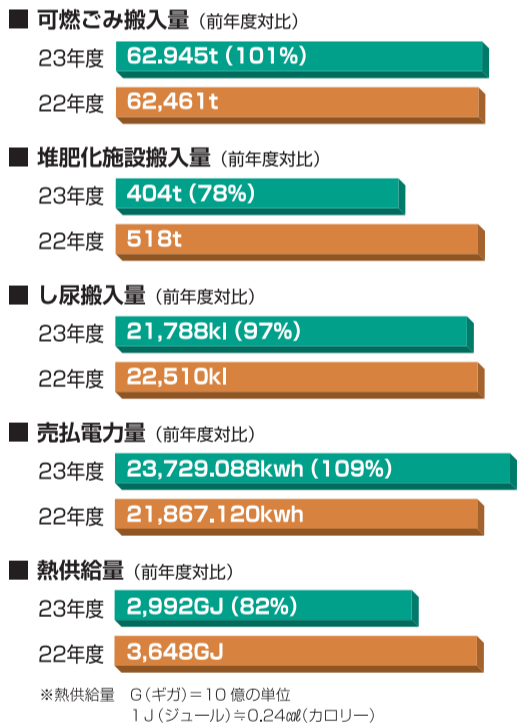
好評販売中 エコバッグ

買物に便利な布製のバッグを販売しています。レジ袋削減のためご利用ください。 ◆販売価格 1枚400円 ◆大きさ タテ36cm×ヨコ46cm×底マチ14cm、ハンドル(ひも)60cm ◆販売場所 第一工場事務所 ◆受付問合せ先 ☎048-966-0121 ※なお、第一工場から遠方の方や大量購入の場合はご相談ください。



統計データ

平成23年4月~6月実績値



※熱供給量 G(ギガ)=10億の単位 1J(ジュール)=0.24kcal(カロリー)

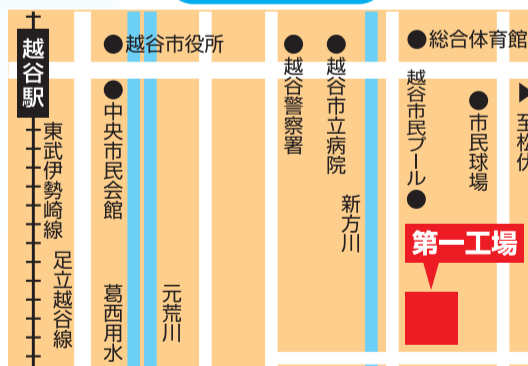


夏休み親子スクール参加者募集

夏休みを利用して、小学生と保護者を対象に、わかりやすいごみとリサイクル、環境問題のお話と工場見学を実施します。夏休みの自由研究にもなりますので、親子で楽しみながら参加できます。

- ◆日時 平成23年7月27日(水)午前9時30分~11時30分
- ◆開催場所 越谷市増林三丁目2番地1 東埼玉資源環境組合 第一工場
- ◆内容 子供向け環境のお話と第一工場の施設見学
- ◆講師 スクールカウンセラー、元小学校長 万代 里子 氏
- ◆定員 120人、管内(越谷市・草加市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町)在住の小学生と保護者
- ◆申込方法 7月20日(水)8時30分から電話で計画課へお申し込みください。 ☎048-966-0121 (定員になり次第締め切ります)
- ◆交通 バスの送迎があります。受付順55人まで。申込時に予約してください。JR越谷レイクタウン駅北口のロータリーを午前9時に出発します。
- ◆保育 スクール開催中、2歳から就学前のお子さんをお預かりします。希望される方は申込時に申請してください。
- ◆その他 参加費無料。筆記用具をご用意ください。写真撮影は可能です。

案内図



工場見学

4月から組合の一員として仕事をしていますが、毎日のようにたくさんの子供たちが、工場の見学に来てくれています。これからの日本を担っていく子供たちが、地球環境問題に、興味を持って、行動していくきっかけになってくれればと思います。東日本大震災以降、休止していた展望台見学も再開しました。自分たちの住むまちを、地上80メートルから、見直すことも良い勉強になると思います。被災地の一日も早い復旧、復興を組合職員一同、心からお祈りいたします。(え)

ちよつと一言

|     |          |           |
|-----|----------|-----------|
| 越谷市 | 328,812人 | 138,219世帯 |
| 草加市 | 244,102人 | 106,584世帯 |
| 八潮市 | 83,035人  | 34,516世帯  |
| 三郷市 | 133,461人 | 55,787世帯  |
| 吉川市 | 66,807人  | 25,238世帯  |
| 松伏町 | 31,261人  | 11,374世帯  |
| 合計  | 887,478人 | 371,718世帯 |



(平成23年6月1日現在)

管内人口